



設備貸与制度

金属一次加工品の供給元として 即納体制で全国に納入先を獲得

材木の世界であれば、原木から切り出して大まかなサイズや形の部材をつくる製材という工程がある。それと同じように、各種金属材料から一次加工した部材を供給するメーカーとして全国に取引先を持つ会社が秋田にある。

三和精鋼株式会社

〒018-0301
秋田県にかほ市飛字餅田13番地1
Tel. 0184-38-3811
Fax. 0184-38-4166
<http://www.sanwa-pc.jp/>

金属一次加工で全国から旺盛な受注

にかほ市の三和精鋼株式会社は、機械製造メーカーなどからの注文を受けて鉄やアルミ、ステンレスなどの金属材料から必要なサイズ形状の部材をつくり出す金属一次加工の会社だ。

「例えていうなら製材所をイメージいただければと思います。木材であれば原木から大まかなサイズの角材や板材を切り出し、それを工務店や大工さんに納めます。そのより高精度な金属版ということです」(伊藤茂敏社長)

20人ほどのオペレーターで全国の顧客からの注文を受け付け、在庫してある金属材料から小ロットの指定形状の部材を切り出し、早いものでは注文の翌日には出荷する体制を敷いている。契約している運送会社の発送荷物取扱量が県内で2番目ということからも、きわめて旺盛な受注状況が伺われる。

顧客満足度向上に向け新設備を導入

一般に金属一次加工の会社は、鉄は鉄、アルミはアルミと、特定の素材を専門に扱うところがほとんどである。しかし同社は各種素材の加工技術を有して

いるため、顧客からの信頼が厚い。

更なる顧客満足の追求という経営方針に沿って、設備貸与制度を利用し、両頭フライス盤という大型加工機を導入した。同種の設備は既に数台所有しているが、加工精度が高まったことと自動化が進んだことによって作業の効率化が図られた。

競争力をつけて更なる販路の拡大を図る

昭和56年の創業当時、取引先は県内で、半導体関連の部品製造装置用の部材供給がほとんどだったが、短納期・低コスト・高品質で競争力をつけ、現在では全国から顧客を獲得している。同社の高い生産技術は海外の航空機メーカーにも評価されており、現在はボーイング社の最新鋭旅客機に使われる部品の一次加工品も供給している。

商社系の大手金属一次加工のメーカーを除けば、地元資本では東日本でもトップクラスといえる事業規模を誇る三和精鋼。これまでの生産設備に加えて今回導入した設備でより一層の顧客満足の向上を図り、取引先の新規開拓にも力を入れていくという。



- 1 多数の大型加工機を駆使し、小ロットの金属一次加工に対応している。
- 2 地元資本で同社ほどの加工機を有している会社はなく、全国を相手に事業展開していきたいと語る伊藤茂敏社長。
- 3 金属材料から一時加工で部材をつくり出す。
- 4 顧客の注文に即納対応できるよう常時大量の金属材料を在庫している。

設備貸与制度

県内小規模企業者・中小企業者が導入を希望される機械設備を当センターが購入し、割賦販売またはリースする制度です。

【制度の利用・お問い合わせについて】

あきた企業活性化センター／経営革新・設備資金担当まで。

制度の解説